



立川ひろとしの手紙

立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2022.2.13 発行 No.2-14 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 https://tachikawa-hirotoshi.com h_tachikawa@tacho-net.com



新たな株 オミクロン株の動向に注意

新しい年を迎え、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？旧年中は皆様に大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

また、日頃より皆様には立川ひろとしの活動に対しまして、ご理解・ご支援を頂きまして有難うございます。

昨年の秋口から新型コロナウイルス感染症が急激に落ち着き、感染対策をしながらも、少しずつ日常を取り戻せるかと期待をしておりましたが、新たな変異株の発生により、国内はもとより結城市におきましても、感染者の増加傾向に転じ、一気に緊張モードに変わってしまいました。

専門家の方々のお話によると、感染力は強いものの重症化しにくい、変異の傾向が季節性インフルエンザへの最終段階に来ているのではないか、重症化しにくいといつても高齢者や基礎疾患を持っている方は油断できない、など、傾向がはっきりしていない部分もあるのが実情かと思います。

傾向が明らかになるまでは、引き続きマスク着用、手洗い、うがい、密を避ける、大人数での会食を行わない、など、これまでと同様の対策が必要と考えております。

本年こそ、新型コロナウイルス感染症を皆様で克服し、様々な機会で直接お会いし、語らいのできる時が訪れる事を願いながら、皆様に本誌をお届けします。



コラム：議員定数を考える～私が反対を選択した考え方

令和3年 結城市議会 第4回 定例会（12月議会）において、議員提案により次期改選（令和5年4月予定）より議員定数削減（定数1減）を行う条例改選案が提案され、賛成8・反対9で否決となりました。

私は、今回の定数削減には反対を致しました。

今回の定数削減については、平成31年4月の市議会議員選挙において、無投票であったことから、改選直後より議会運営委員会で議論が行われたり、議員全員からアンケートをとって意見調整を行いましたが、定数削減、現状維持の意見が拮抗し、議会内でもなかなか結論が出ない状況でした。

私は現状の人口規模：5万人から定数18名という人数に対して妥当であるとの考えを持っており、今回の定数削減の議案の提出についても考えてみましたが、現状維持を選択し、定数削減に反対しました。

私自身は、市民の皆さんから定数削減の意見が出てくる大きな要因は、単なる無投票回避のための定数削減だけでなく「議会が議会費のコストに見合う市民の皆さんに寄り添った活動をしているのか？」という点にあると考えております。

市民の皆さんの意向にそって、その時に1ないし2の定数削減を行っても、中で活動している議員が変わらなければ、議会が市民の皆さんにとって存在意義のある組織として認めて頂けず、「議会が議会費のコストに見合う市民の皆さんに寄り添った活動をしているのか？」との判断となり、定数削減の話は永遠に出続けるでしょう。

私は会派に所属しておらず、大きな事を動かすことはできませんが、先日、個人的な勉強会を企画し、皆さんも一緒にと全議員に声掛けをしたところ、18人中17人の議員に参加の意向を頂き、個人企画から議会企画の勉強会となり、大きな動きにできました。また、コロナ禍により企画段階で実施に至っておりませんが、議会公式の報告会を行い、市民の皆さんと対話の機会を作っています。このように、議会が市民の皆さんに寄り添って市民の皆さんに無くてはならない組織に変革する努力が必要と考えます。

私も、自分の出来ることで姿勢を示したいとの想いで、初当選以来、継続してホームページ・SNS・広報誌（本誌）での情報提供・意見収集を続けています。いずれも、定数削減論の中で「議員がやるべき」と指摘される活動です。

もちろん、市民の皆さんのご意見である「市の人口」「経済状況」を考慮に入れた議員定数について考えていく必要があることも理解しています。その上で「議員を減らしたほうがいい」という意見に対し、逆に「市民の皆さんにとって役立つ組織になって信頼を得る」という強い決意や取り組みを示す努力をしていくことが、票を頂き、付託を受けた議員として取り組むべき姿勢という考えに至り、今回は定数削減に反対し、更なる努力活動をしていきたいと考えました。

「議員定数」のテーマは自治体規模・議員報酬・各議会が議員活動として定めた活動内容を包括していく課題で、どの自治体も最適解を見出せていません。今後も皆さんからのご意見をしっかりと拝聴し、自分がその時にどう考えて判断したのかを説明しながら活動をしてまいります。



様々な課題にしっかり提言！立川ひろとしの一般質問ダイジェスト！

■ 自治会運営のあり方について

結城市に住む多くの住民が参画し、在籍している自治会。結城市と市民の中間層に位置する組織で、役員のなり手不足や、運営上の課題、市の支援状況についてテーマに取り上げて質問をしました。執行部からは以下のような答弁がありました。

① 依頼している役職の中で負荷の高い自治協力員・民生委員さんの状況について

年齢構成については以下の通り

	自治協力員	民生委員・児童委員
30代	5人（2.6%）	
40代	8人（4.2%）	1人（1.1%）
50代	19人（10.0%）	3人（3.2%）
60代	85人（44.8%）	51人（54.8%）
70代	68人（35.8%）	38人（40.9%）
80代	5人（2.6%）	
合計	190人	93人

●自治協力員

在職年数 … 基本的に一年間を任期としているが、各自治会様々で、一番短い方が1年、一番長い方が37年、平均年数は3年。

職業 … 要項上規定を設けてないため把握していないが、自営業や農業、会社員など様々。年齢層から想定するに会社等を退職された方が多いものと思われる。

●民生委員児童委員

在職年数 … 委嘱期間は3年で再任も可能。最も勤続年数の短い方は事情により退任された方の後任として本年6月から委嘱された方で6ヶ月、最も長く勤続されている方は23年、全体の平均年数は4年。

職業 … 自営業や農業、会社員の方もいるが、会社等を退職された方など、無職の方がもっとも多い。

② 近年の自治会運営における課題（相談内容）及び解決策について

世帯数の増加している地域では自治協力員への負担増加が懸念され、世帯の高齢化が進んでいる地域では自治協力員のなり手不足、人間関係の希薄化の進展に伴う自治会への参加率の低下が予想され、適宜、合併や分割などをしなくては運営が立ち行かなくなることも考えられる。

自治協力員連合会や、各地区に設置されている地区自治協力員会などで情報共有を図って頂き、行政としても、住民自治を支えつつ、相互協力を図り、結城市全体が住みよい街となるよう尽力したい。

③ 市長見解

公約の一つに、地域社会の安心・安全を守るということを掲げており、その一つが、新しいコミュニティのあり方を検討していく必要がある時代と認識している。

個人情報保護の観点もあり、人ととの距離感を自治会でどう作っていくか、新しい自治会のあり方を模索する時期であるとも認識。地域防災力も必要ですし、子どもたちの安心安全を守るためにも、一定程度の住民の自治会の中での情報共有も必要と考えている。災害時の避難行動における、自治会の内部情報の共有も必要。IT化技術革新が進んでいく中、これからの時代にふさわしい住民自治のあり方を検討する時期だと思っている。交通弱者も増え、買い物難民、病院に行くときの足の確保も大変な時代。

さまざまな自治会のそれぞれの状況に応じたモデルケースみたいなものを作っていけばと思っている。

■ 立川のコメント

人口減少社会、高齢化社会の中で、今後、自治協力員さんや役員さんのなり手不足、問題解決の手法や自治会運営のノウハウなど、自治会運営そのものについて支援をしていく必要があると考えています。

行政運営においても、自治会崩壊は情報収集、情報伝達、災害時の対応など様々な面で支障が出てくることから、自治協力員さんの負荷軽減、人材育成支援や運営支援など、自治会運営そのものを支援することを要望します。



12月定例会でこのようなことが決まりました！皆さんに身近な話題をわかりやすく解説！

■ 令和3年度 一般会計 補正予算の専決処分を承認

① 一般会計 総額 4億 1070万円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

- ・子育て世帯への臨時特別給付金支給事業（先行給付分） 4億 1,070.0 万円

■ 令和3年度 一般会計 補正予算を可決（その1）

① 一般会計 4億 5890万円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

・過年度特別交付税返還金	2,873.9 万円
・障害者自立支援給付費 (障害者介護給付費・障害者訓練等給付費・障害者装具費・地域相談支援費)	1億 466.9 万円
・障害児支援事業費 (児童発達支援費・放課後等デイサービス費・居宅訪問型児童発達支援費)	2,243.2 万円
・生活保護費	747.5 万円
・新型コロナワクチン接種事業費	4,667.3 万円
・市道舗装修理事業費（舗装修理工事）	1,000.0 万円
・市道0109号線舗装整備＆街路灯LED化事業費	1,500.0 万円
・南部中央公園 園路改修工事	4,100.0 万円
・エレベーター整備事業費（結城駅南口）	1億 6,998.2 万円

■ 令和3年度 一般会計 補正予算を可決（その2）

① 一般会計 4億 760万円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

- ・子育て世帯への臨時特別給付金支給事業（追加給付分） 4億 760.0 万円

1月臨時会でもこのようなことが決まりました！

■ 令和3年度 一般会計 補正予算を可決

① 一般会計 6億 3730万円の補正予算を可決

② 主なものは以下の通り

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 5億 9,943.8 万円

令和2年度所得の算定で非課税世帯となった世帯、令和2年度所得の算定で課税となった世帯でも令和3年度にコロナの影響で非課税世帯と同様の所得に激変した世帯が対象とのこと

・保育環境改善等事業補助金	570.0 万円
・保育士等待遇改善臨時特例事業補助金	497.2 万円
・子育て世帯への臨時特別給付（拡充給付金）支給事業	4,772.4 万円
・放課後児童支援員等待遇改善臨時特例事業費助成	110.0 万円
・新型コロナワクチン接種事務委託料	1,205.8 万円
・幼稚園教諭等待遇改善臨時特例事業補助金	121.5 万円

何者かよくわからないと言われなくなるまで自己紹介

・昭和48年（1973年）5月3日 結城市生まれ

　48歳 丑年 おうし座 独身 嫁 ゆるく募集中

・城南保育所 ⇒ 城南小学校 ⇒ 城西小学校

　⇒ 結城中学校 ⇒ 下館第一高等学校 普通科

　⇒ 日本大学工学部 電気工学科を卒業

　⇒ 民間企業でシステムエンジニアとして従事

・平成15年 結城市議会議員選挙にて当選

　⇒ 以来3期12年 市議として活動

・平成27年8月 結城市長選挙に立候補するも力及ばず敗戦

・敗戦後、政治的活動引退を決意し、全ての公職から退きシステムエンジニアに復帰するも、後援会や地元からの要請で平成31年 結城市議会議員選挙にて議員復帰

・市議会議員 現在 通算 4期目

・結城市議会 産業建設委員会（委員長） 議会情報推進委員会（議会広報誌編集）
結城市国民健康保険の運営に関する協議会 所属（会長 職務代理者）

・筑西広域市町村圏 事務組合議員&代表監査委員（令和3年7月～）

・結城市消防団 第5分団 団員（平成17年7月～ 現在）

・結城市ペタンク協会 会長（令和元年7月～ 現在） ← 是非一緒にやりましょう！

・所属会社からの理解を頂き、会社員を継続しながら市議会議員として活動中



■ 結城市国民健康保険税条例の改正

・参加医療保障性の掛け金引き下げに伴い、出産育児一時金の支給総額を維持するため出産育児一時金を増額
(40万 4000円 ⇒ 40万 8000円)

・新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者の傷病手当金の支給期間を通常化し、出勤に伴い不支給となった期間がある場合、延長して傷病手当金を受けられるよう改正

■ 結城市道にかかる移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正

・改正バリアフリー法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）の施行に伴い、旅客特定車両停留施設の構造基準の追加を規定

※ 旅客特定車両停留施設

交通の混雑緩和を図る目的のため、バス、タクシーなどの旅客用車両を同時に2台以上を停留させる施設で、道路に接して道路管理者が設けるもの。令和2年5月の道路法改正により、新たに道路の附属物に加えられた。

■ 市道路線の認定について

・新規市道路線2本、既存市道路線1本の変更について承認

■ 議員定数削減（1名削減）の条例改正案を否決

・議員7名により議員提案として上程された、議員定数1名削減の条例改正案を賛成少数で否決

ネットやSNSでも活動報告&質問お受けします！



<https://www.facebook.com/Hirotoshi.Tachikawa>



https://twitter.com/Tachikawa_Hiro



ID : yk-tckw-official



https://www.instagram.com/hiro_tachikawa/
ID : hiro_tachikawa



<https://tachikawa-hirotoshi.com/>



h_tachikawa@tacho-net.com



0296-33-5657 (自宅)



0296-54-4642 (FAX専用回線)

・SNS/メールはすべて立川本人が直接管理しておりますので、他の者が内容を見る事はありませんのでご安心ください。

・お問い合わせの際にはお名前・お住まいの地域も明記頂けましたら、より具体的に回答ができる場合ございますので、お名前・お住まいなどもあわせて情報頂けますようご理解&ご協力をお願い致します。

今回は発行が遅くなったことをお詫びしながらの編集後記

いつもでしたら、議会終了の翌月中旬には本誌を発行しておりますが、今回は大幅に遅れました事をご容赦頂けたらと思います。

その分、令和4年1月の臨時議会の内容や、コラムで掲載した議員定数削減に対する考え方についても、しっかり精査して書き上げることができました。

議員定数については、議員報酬も含めて述べなければならないと考えおりましたが、全てを網羅すると他の記事を掲載できなくなってしまうことから、次号以降で、報酬と絡めた考え方を掲載したいと考えております。

「いっしょにつくろう みらいのゆうき」でネット検索して頂きますと、私の前半3期12年のホームページが出てきますが、議員報酬のみで活動していたころの報酬・政治団体収支・選挙費用を公開しております。是非ご覧を頂いて、結市の財政規模や人口規模での定数と報酬のバランス、若い有望な世代の人たちに議員に専念して私たちの結城の未来のために働いてもらおうとしたら、家族を養って生活をして子育てをして教育をして、議員活動や選挙費用を捻出するにはどのくらいの議員報酬が妥当な額なのか、を論ずる参考にして頂けたら幸いです。

